

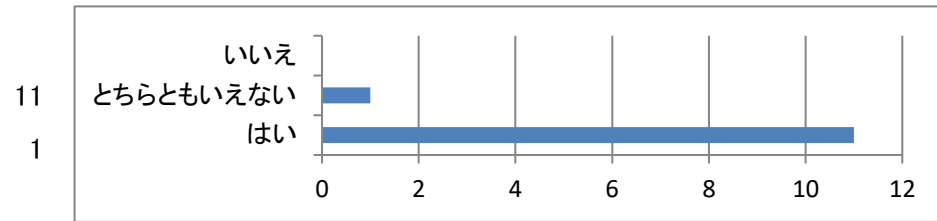
2019年度 児童発達支援評価表

1、茜での子どもの活動スペースは十分に確保されていますか？

はい

どちらともいえない

いいえ

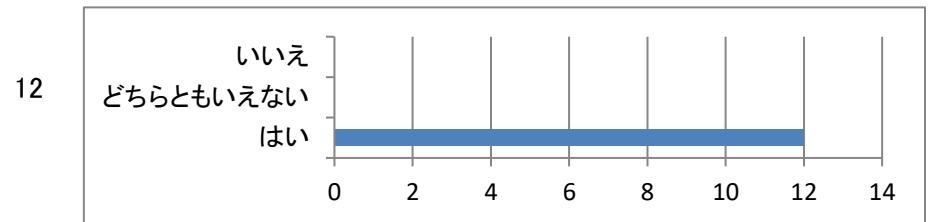


2、茜職員の配置数や専門性は適切ですか？

はい

どちらともいえない

いいえ

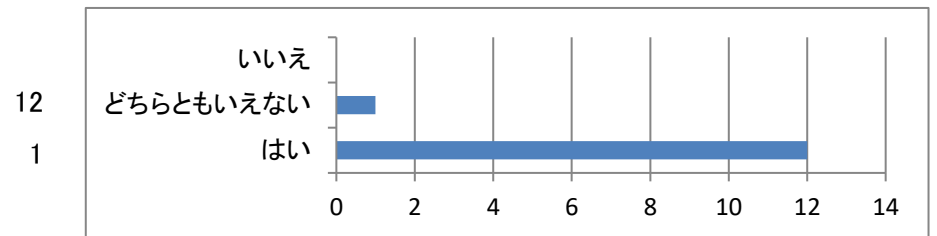


3、子供のニーズに応じた個別支援計画が作成されていますか？

はい

どちらともいえない

いいえ

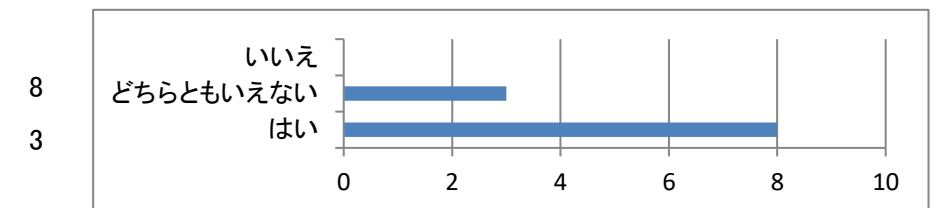


4、茜の設備等において、バリアフリーの配慮がなされていますか？

はい

どちらともいえない

いいえ



5、茜のさまざまな活動内容は工夫されていますか？

はい

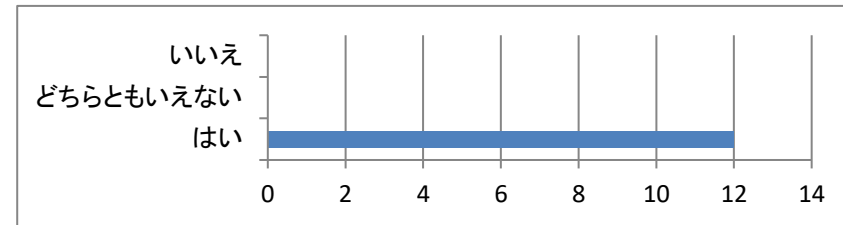
どちらともいえない

いいえ

【意見】

おやつタイムで何を食べたか知らせてほしい

12



6、支援の内容や、利用者負担額(利用料)等について、丁寧な説明はありましたか？

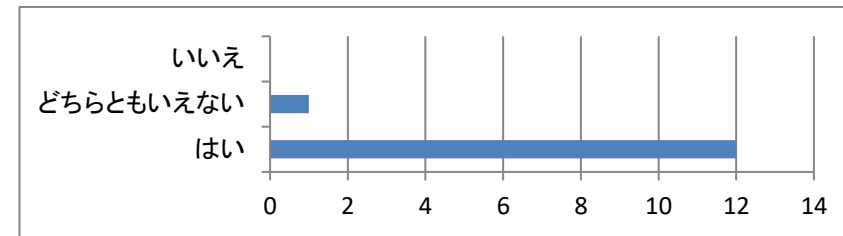
はい

どちらともいえない

いいえ

12

1



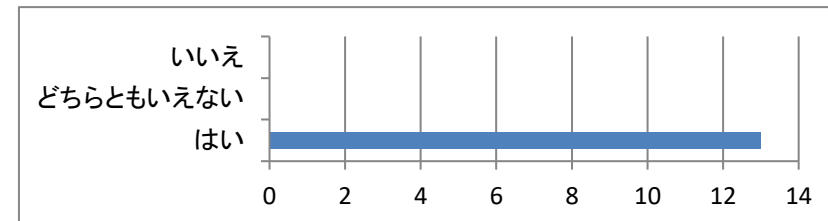
7、子どもの状況や課題について職員と確認し合っていますか？

はい

どちらともいえない

いいえ

13



8、子どもや保護者から苦情があった時、職員は適切に対応していますか？

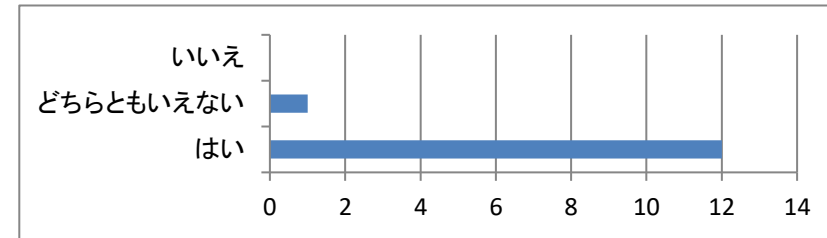
はい

どちらともいえない

いいえ

12

1



9、子どもや保護者とのコミュニケーションにおいて、適切な配慮がなされていますか？

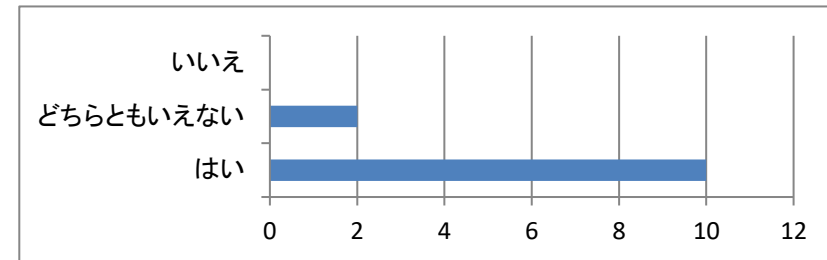
はい

どちらともいえない

いいえ

10

2



10、茜の活動内容や行事予定の情報を定期的に把握されていますか？

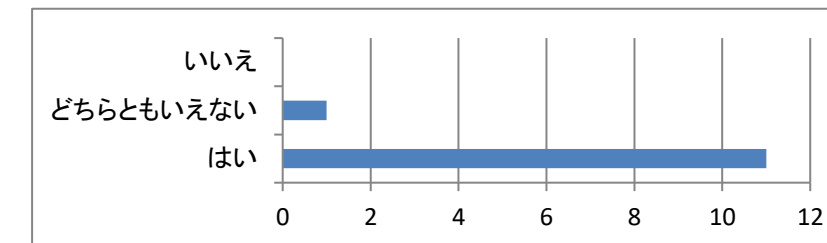
はい

どちらともいえない

いいえ

11

1



11. 菌は個人情報の取り扱いにおいて、十分注意していると思いますか？

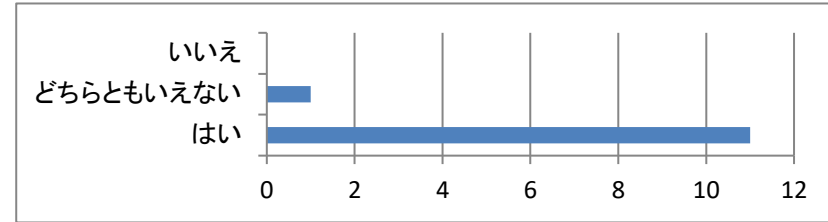
はい

どちらともいえない

いいえ

11

1



12. 緊急時対応、感染症対応について、保護者に周知・説明していますか？

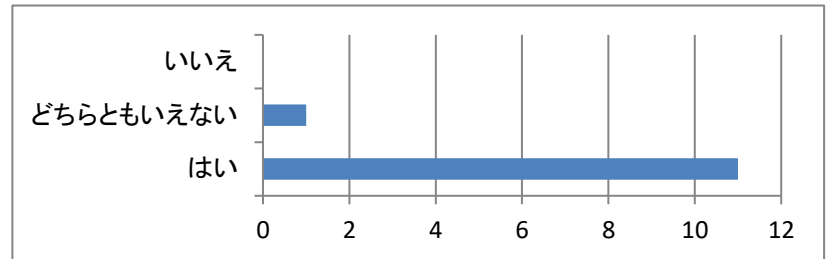
はい

どちらともいえない

いいえ

11

1



13. 非常災害が起こった時に備えて、定期的に避難訓練をしているのを知っていますか？

はい

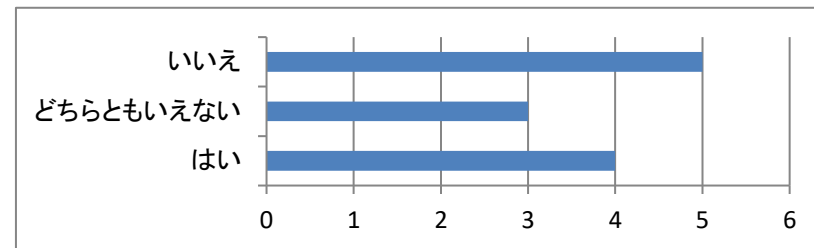
どちらともいえない

いいえ

4

3

5



14.子どもは歯に来ることを楽しみにしていますか？

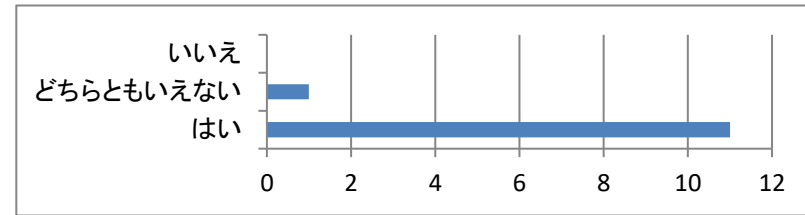
はい

どちらともいえない

いいえ

11

1



15.歯での支援に満足していますか？

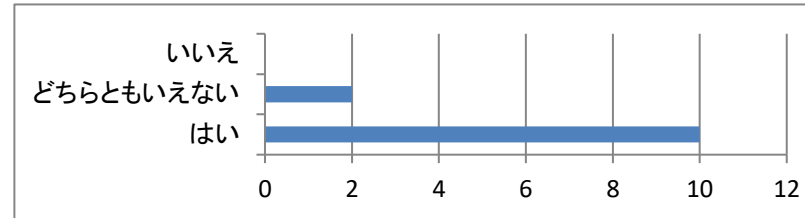
はい

どちらともいえない

いいえ

10

2



【その他 意見等】

・長期休みのみ利用しているが、子供たちが楽しめそうな企画が多々あり、ありがたい。

・その日の様子がメールで届くのもありがたい。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和1年10月1日

事業所名 聴覚・ろう重複センター茜

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされる生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		○		保護者にバリアフリー化がなされていない箇所を事前説明、了承をいただいている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画して	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげ	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価を受ける予定なし
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		キャリアに応じた研修を実施	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝礼にて実践している
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			当日の利用者の様子を情報交換し、課題がある時は対策も含めて情報共有に努めている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				
関係機関や保	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当する児童なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当する児童なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図って				当事業所では実施していない

護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				当事業所では実施していない	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会が		○	成人の当事者と交流		障害の特性や広域にわたる地域性を考慮し、兄弟やお友達の企画を検討
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○				市内の連絡会に参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○			保護者対象の学習会を検討
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を	○				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			保護者会はないが、交流できる機会を設ける
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○				視覚的情報を大切にしている	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○				日頃からの挨拶等を心掛けている
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○				年4回訓練実施
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○			ご家族の指示にもとづいて対応
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○				

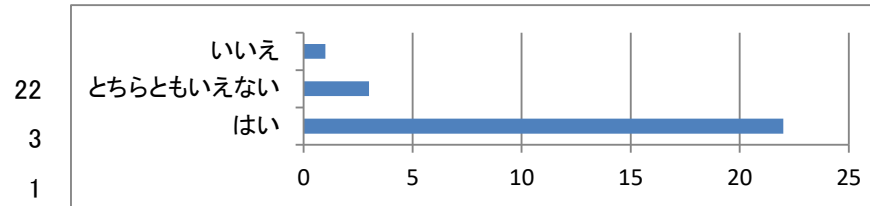
2019年度 放課後等デイサービス評価表

1、茜での子どもの活動スペースは十分に確保されていますか？

はい

どちらともいえない

いいえ



2、茜職員の配置数や専門性は適切ですか？

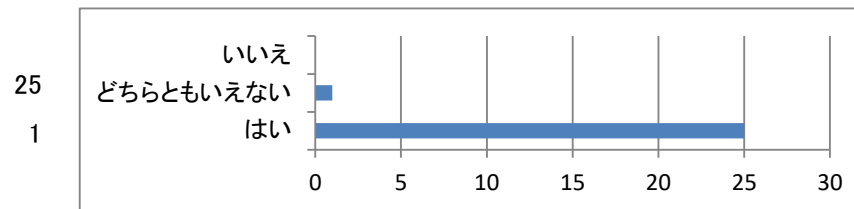
はい

どちらともいえない

いいえ

【意見】

・信頼してお任せしています。子どもの様子を見ればわかります。

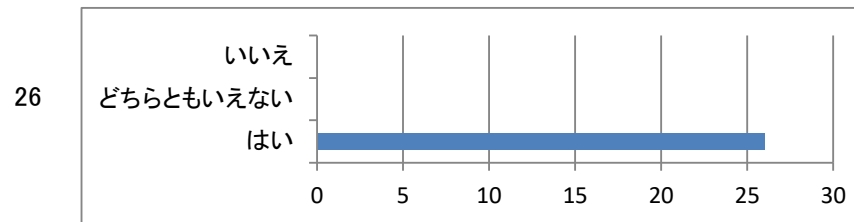


3、子供のニーズに応じた個別支援計画が作成されていますか？

はい

どちらともいえない

いいえ

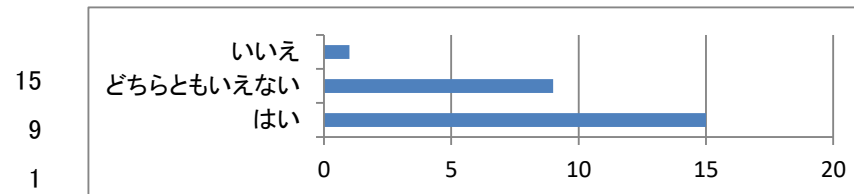


4、茜の設備等において、バリアフリーの配慮がなされていますか？

はい

どちらともいえない

いいえ



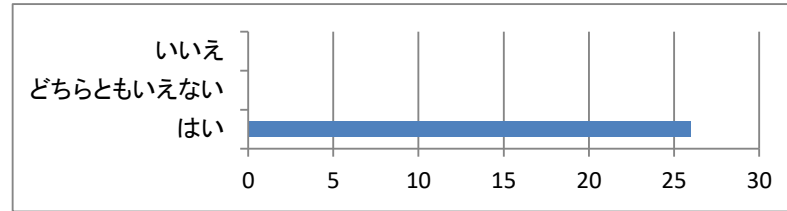
5、茜のさまざまな活動内容は工夫されていますか？

はい

どちらともいえない

いいえ

26



6、支援の内容や、利用者負担額(利用料)等について、丁寧な説明はありましたか？

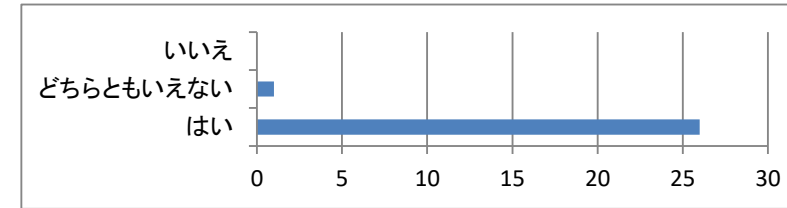
はい

どちらともいえない

いいえ

26

1



7、子どもの状況や課題について職員と確認し合っていますか？

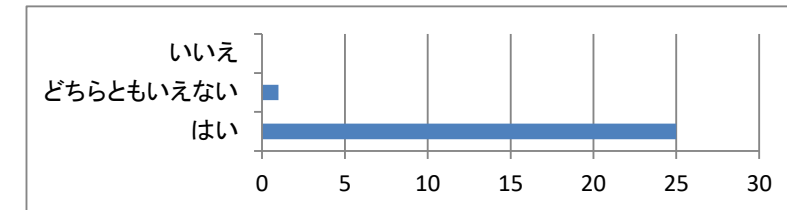
はい

どちらともいえない

いいえ

25

1



8、子どもや保護者から苦情があった時、職員は適切に対応していますか？

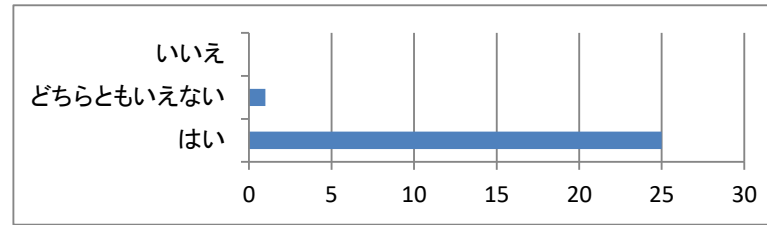
はい

どちらともいえない

いいえ

25

1



【意見】

子どもに腹を立てることは誰にでもあるのでわかりますが、職員として無視はよくないと思います。

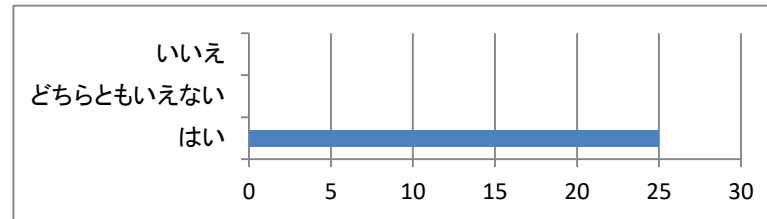
9、子どもや保護者とのコミュニケーションにおいて、適切な配慮がなされていますか？

はい

どちらともいえない

いいえ

25



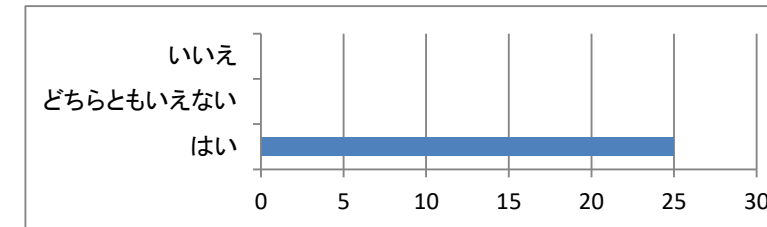
10、茜の活動内容や行事予定の情報を定期的に把握されていますか？

はい

どちらともいえない

いいえ

25



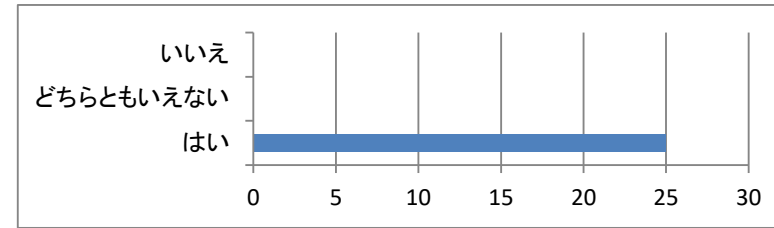
11. 茜は個人情報の取り扱いにおいて、十分注意していると思いますか？

はい

どちらともいえない

いいえ

25



12. 緊急時対応、感染症対応について、保護者に周知・説明していますか？

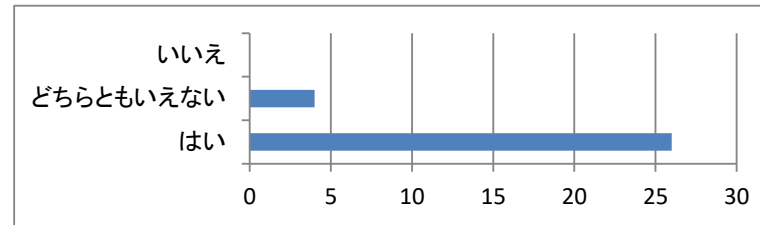
はい

どちらともいえない

いいえ

26

4



13. 非常災害が起こった時に備えて、定期的に避難訓練をしているのを知っていますか？

はい

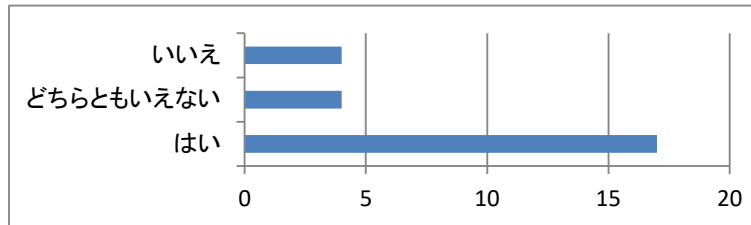
どちらともいえない

いいえ

17

4

4



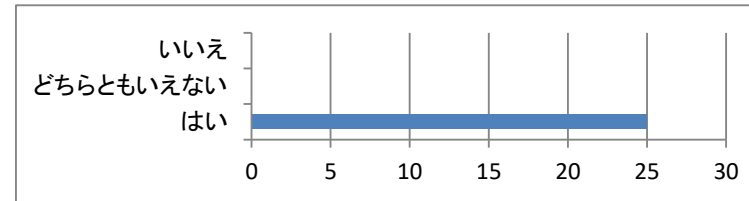
14.子どもは茜に来ることを楽しみにしていますか？

はい

どちらともいえません

いいえ

25



【意見】

弟の方が楽しみではない様子だが、兄がいる安心感で助かっている。

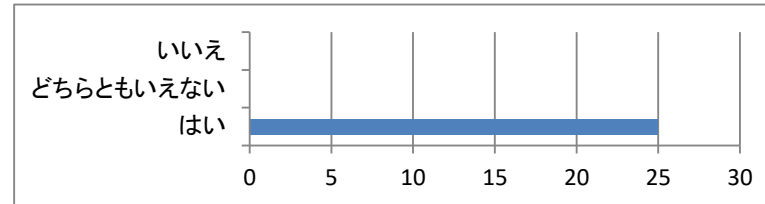
15.茜での支援に満足していますか？

はい

どちらともいえません

いいえ

25



【その他 意見等】

・月一回の土曜日活动をもっと増やしてほしい

・中学生になってからなかなか利用できなくなりましたが、茜には色々な年齢のお友達がいて、とても楽しく通わせていただきました。スタッフの方々も優しく接してくれた。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和1年10月1日

事業所名 聴覚・ろう重複センター茜

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			保護者にバリアフリー化がなされていない箇所を事前説明、了承をいただいている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画して保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	5	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価を受ける予定なし
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		キャリアに応じた研修を実施	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝礼にて実践
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			当日の利用者の様子を情報交換し、課題がある時は対策も含めて情報共有に努めている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断してガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	○			
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		事例なし
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		事例なし
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		成人の当事者と交流	障害の特性や広域にわたる地域性を考慮し、兄弟やお友達の企画実施
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			市内の連絡会に参加している
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			保護者対象の学習会開催を検討	
29		○				

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行う	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			保護者会はないが、交流の機会を設ける
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				視覚的情報を大切にしている
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○				日頃からの挨拶等を心掛けている
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				年4回訓練実施
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○			ご家族の指示にもとづいて対応
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				